National Teachers Union of Private Universities and Colleges

私大ユニオン・ニュース

第６８号
2022/08/31

題字：奥平　康弘

全国私立大学教職員組合（私大ユニオン）
〒101-0003東京都千代田区一ツ橋2-6-2
日本教育会館６階
電話03-3262-2151　FAX03-3262-2152
郵便振替00190-3-28088　http://upuc.org/

ゆたかな私学教育の創造をめざして！
日私教第 32 回私教研を姫路で開催

日私教の第32回私教研が、8月7日(日)に姫路市のアクリエひめじで開催された。昨年度同様、例年より短い1日間の開催で、対面とオンライン参加の併用方式となった。新型コロナ感染症の第7波の真っ只中での開催となったが、感染予防対策をとりつつ、北海道から九州までの私学の仲間が参加した。

【実行委員は昨秋結成の淳心学院中高教職組】

私学教育研究集会は、私学助成中央行動と並ぶ日私教の活動の柱で、今回で第32回をむかえる。姫路私教研の実行委員会は、地元の淳心学院中学校高等学校教職員組合が担当した。同教職組は昨秋に結成され、日私教に加盟した新しい仲間だ。淳心学院はベルギー発祥のカトリック宣教会「淳心会」によって設立されたミッション・スクールで、高校では生徒を募集しない完全中高一貫校だ。

【記念講演は「姫路城」の発するメッセージ】

私教研の開会集会では、村田茂日私教委員長、内野秀樹実行委員長（淳心学院教職組副代表）のあいさつがあった。日政連議員からは、会長の水岡俊一参議院議員、先日初当選した古賀千景参議院議員などから多数のメッセージが寄せられた。基調報告は、事情により急遽欠席となった野宗豊彦書記長の代行として村田茂委員長からなされた。

記念公演は、中元孝迪さん（姫路市文化国際交流財団理事長・元姫路独協大学副学長）による「日本初の世界遺産『姫路城』の発するメッセージ」だ。播磨（姫路）は古代から有数な豊かな地域で、政権中枢の畿内と反政府勢力の温床の西国との接点に位置し、姫路城はこんな歴史的・地域的背景で築城された「守りの城」だ等々と、姫路私教研にぴったりのテーマの講演だった。

【私大ユニオンは私大の現状と課題をレポート】

全体会では、6本のレポート発表があり、私立高校からは、北海道・東京および青年部から、各々教育現場での実践を踏まえたレポートが、大阪・広島からは組合活動の現況等の報告があった。

私大ユニオンからは、亀山亜土さん（私大ユ・委員長）による「衰退途上国・日本における私大の現状と課題」の発表が行われた。バブル経済崩壊以降「失われた30年」から抜け出せない日本は、少子高齢化による人口減少期に突入した。中小私大でも18歳人口減による定員未充足校が激増・財政悪化による人件費削減が横行し、労組結成の動きがみられる。私大ユニオンとしては組織化のチャンスであり、同時に共通課題の多い日大教との連携を進めたいとのレポートがなされた。

私学助成拡充第１次中央行動を実施
文科省・立憲民主党・公明党へ要請

日私教は、8月22日(月)に2023年度予算の概算要求の満額確保にむけて、私学助成拡充第1次中央行動を実施した。一昨年来、新型コロナ感染症の影響で規模を縮小した取り組みが続いており、今回も日私教中執と東京の私立高校の組合員･保護者等を中心としたある程度、縮小した形の行動となった。

今回の日私教の文科省への要求内容は、私立高校等に関連する案件を含めて全１１項目となっている。このうち重点項目として、①高校等就学支援金制度の支給上限額引き上げおよび受給資格要件の緩和等　②給付型奨学金・授業料減免（大学の修学支援新制度）の支給対象の拡大等　③私立高校新ICT教育設備等、私立学校の教育研究装置等整備費事業の拡充等の３項目を取り上げる。

【中央集会】

10時からの中央集会では村田茂日私教委員長の開会あいさつの後、日政連会長の水岡俊一参議院議員からは、古賀ちかげ参議院議員への支援に対する謝意が表明された。

【私学助成に関するレクチャー】

昼食休憩後の12時40分から、林茂樹日私教副委員長（私大ユニオン中執）による私学助成に関するレクチャーが行われた。主な内容は、教育費負担軽減措置としての高校等就学支援金、高校生等奨学給付金、大学の修学支援新制度、さらに私学助成予算としての経常費補助金、私学教育研究装置整備費、地方交付税等である。

【文部科学省交渉】

文科省交渉は14時から本省旧庁舎で行われ、文科省側は係長クラス6人が出席した。

村田日私教委員長の概要説明後、佐野通夫私大ユニオン副委員長は、大学の修学支援新制度について、利用状況の説明を求めたが、文科省側からは回答がなく、現在の支給基準は厳しすぎて該当する学生をカバーできないので、別の施策を検討するように訴えた。また、就学支援金制度から朝鮮学校が排除されている現状の改善を要求した。私大ユニオンからは、松井圭三中執も参加した。

【立憲民主党要請】

14時から立憲民主党への要請行動が行われ、立憲民主党からは牧義夫衆議院議員・菊田真紀子衆議院議員・吉川元衆議院議員・吉田晴美衆議院議員の4人が出席した。

冒頭、野宗豊彦日私教書記長から、主な要請項目の説明と私立高校におけるコロナ流行下の現況等について説明がなされた。

林茂樹副委員長は、大学の修学支援新制度について、住民税非課税世帯が対象となっているが、予算が使い切れていないのではないか、文科省は実態を明らかにしていないが、もっと中間層への支援が必要だと強調した。私大ユニオンからは、亀山亜土委員長と佐々木克己中執が参加した。

【公明党要請】

8月25日の10時45分からとなった公明党への要請行動には、浮島智子衆議院議員ほか3人の党所属衆参国会議員が対応した。

村田日私教委員長の趣旨説明ののち、亀山亜土委員長は、大学の修学支援新制度の機関要件である実務家教員の１割以上の配置、外部理事を最低2名以上とする等の条件の撤廃を求めた。